

第 36 期 第 2 回 理事会 議事録

日時：2025 年 5 月 24 日（土）14:00～17:00

場所：産業医科大学東京事務所 & Zoom 会議

出席者（50 音順、敬称略）：浅海、池上、岡原、小笠原、加藤、楠本、久保、高畑、佐藤、清水、中谷、西、深井、本田、増田、守田、山下、山瀧、山本

特別参加：堀江正知 先生/副学長

欠席：荒木、喜多村、倉岡、橋元、樋上

1. 会長挨拶（西）

36 期がスタートして早半年が経過しました。この半年も 36 回全国大会をはじめ様々な出来事がありました。去る 4 月 12 日には産推研評議員会を開催し、今回も評議員からも産推研をより活性化や発展させるための様々なご意見をいただきました。このご意見は運営に生かしていきたいと考えます。また、今年は役員選挙の年です。次期の役員体制なども検討する時期になっています。本日はこれらを含めて理事会で議論したいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

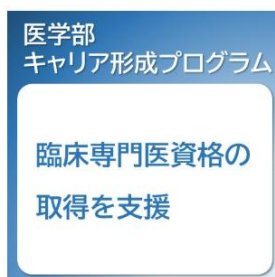
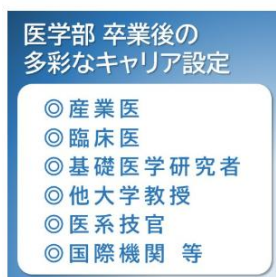
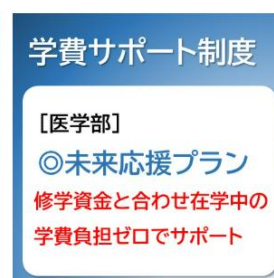
2. 大学近況（副学長 堀江様）

[教育]

【第 4 次中期計画の主な数値目標】

- 医師国家試験合格率
全国上位 4 分の 1 以内または合格率 95%以上（目標）
31 位/82 校、94.5%（令和 6 年度実績、全国 92.3%）
- 看護師国家試験合格率
全国平均合格率 5 ポイント上回る（目標）
100%（令和 6 年度実績、全国 95.9%）
- 保健師国家試験合格率
全国平均合格率 5 ポイント上回る（目標）
100%（令和 6 年度実績、全国 96.4%）
- 入学者選抜試験志願倍率
医学部
20.0 倍（目標、令和 9 年度目標は 23.0 倍）
20.8 倍（実績）
産業保健学部看護学科
4.0 倍（目標）
3.4 倍（実績）
産業衛生科学科
3.6 倍（目標、令和 9 年度目標は 4.0 倍）
1.6 倍（実績）

- 大学院入学定員充足率
65.0%（目標）
84.1%（実績）
- 常勤の産業医輩出数
420 名以上/6 か年（目標）
80 人（令和 6 年度実績）
- 産業保健関連職場就職者数
460 名以上/6 か年（目標）
85 人（令和 6 年度実績）



【医学部】

- OSCE 不合格（4 年生）
令和 5 年度 1 名/105 名
令和 6 年度 0 名/105 名
- CBT 不合格（4 年生）
令和 5 年度 2 名/105 名
令和 6 年度 1 名/105 名
- 留年（1－6 年生）12 名
- 除籍（1－6 年生）2 名

【産業保健学部産業衛生学科】

- 産業医大認定ハイジニスト試験（令和 7 年 6 月 7 日予定）
産業衛生科学科卒業生を対象
- 衛生工学衛生管理者研修

3月に産業衛生科学科卒業生は全員受講

8月に環マネ学科卒業生及び他学卒を対象に実施

- 産業衛生科学科 学生募集用チラシ

(産推研 ML、2025 年 5 月 26 日の[SSK:007681]と、2025 年 6 月 11 日投稿の[SSK:007707]を参照。会員向け情報としての投稿であるため、この PDF ファイルでは URL を省略。)

近年、労働安全衛生法令の改正などにより、企業における専門的な安全衛生技術者の選任が重視されています。産業医科大学では、産業衛生科学科ではハイジニストを養成する全国唯一のカリキュラムを整備し、昨年度から卒業生が社会で活躍を始めています。しかし、一般の高校生や高校教師には、企業における安全衛生活動の重要性ややりがい十分に認識されていません。その結果、産業衛生科学科の受験生は十分に多くないのが現状です。産業衛生科学科では、昨年度から東京での受験会場を設けたところ、徐々に、東日本からも受験していただけるようになってきました。医学、化学、工学、法学などの融合分野で、将来は産業医となる医学部生と一緒に学べる恵まれた学修環境です。今後、全国から同学科を受験いただけるように、皆様の企業における従業員のご子息ご令嬢に同学科にご入学いただき、4年間の北九州での学生生活を経て、全国の企業で活躍いただくといったキャリア設計をご検討いただけるよう、皆様の周囲におられる方々に広報いただけますと幸いです。産業医科大学にとっても将来の活性化に向けた重要な学科です。どうかよろしくお願いいたします。

[研究]

【第4次中期計画の主な数値目標】

- 労災疾病臨床研究事業及び厚生労働科学研究採択、産業医学に関する社会実践事業
15 件 (目標)
17 件 (令和6年度実績)
- 各組織の研究者と共同で実施する産業医学関連新規研究数
40 件/6 か年 (目標)
23 件 (令和6年度実績)
- 産業医学関連の専門誌等執筆及び論文投稿数
120 件以上/年 (集計中)
- THE 世界大学ランキング
国内 第20位/144大学↑ (24-40/119から上昇)
九州 第2-3位/11大学↑ (3-4/11から上昇)
- 大型研究費申請中
大規模研究費獲得プロジェクトワーキングチーム設置
共創の場形成支援プログラム (COI-NEXT) → 不採択

[病院運営]

【第4次中期計画の主な数値目標】

- 新入院患者数（令和 6 年）
大学病院 18,600 人 若松病院 3,900 人（目標）
大学病院 18,054 人 若松病院 3,352 人（実績）
- 手術件数（令和 6 年）
大学病院 8,500 件 若松病院 1,650 件（目標）
大学病院 6,997 件 若松病院 1,764 件（実績）
- 病床稼働率
大学病院 93.0% 若松病院 91.5%（目標）
大学病院 92.5% 若松病院 89.6%（実績予想）

【病院経営】

診療実績や売上げは概ね順調

ただし、光熱費、材料費、人件費の高騰で利益率は低迷

[社会貢献]

【国際交流】

- 2024 年 3 月に ILO と交流協定を締結
- 2024 年 12 月に Padova 大学と交流協定を締結
- 2025 年 4 月 1 日時点で 31 機関と国際交流協定を締結
- 産業生態科学研究所は WHO 指定協力機関の認定更新
（1988 年から 4 年ごとに更新、2024 年から 10 期目）

[業務運営]

- 第 4 次中期目標・中期計画（令和 4～9 年度）第 4 年度目
- 改正私立学校法への対応
理事と評議員の兼業禁止（執行と監視・監督の権限分離）
会計監査人の設置（資金前渡役を財務部に一元化）
- 定年延長
令和 7 年度は 61 歳、令和 8 年度 62 歳に引き上げ
令和 14 年度に 65 歳定年化
- 退職教授（令和 7 年 3 月 31 日）敬称略

第 1 解剖学	東 華岳
医学概論	藤野昭宏
第 1 内科学	田中良哉
公衆衛生学	松田晋哉
作業環境計測学	石松維世
- 新任教授 敬称略

第 1 解剖学	本田岳夫
第 1 生理学	丸山 崇

- | | |
|--------------|-------|
| 医学概論 | 石丸知宏 |
| 第1内科学 | 中山田真吾 |
| 公衆衛生学 | 中田光紀 |
| 医学教育改革推進センター | 岩田 勲 |
| 作業環境計測学 | 樋上光雄 |
- 退職教授（令和8年3月31日）敬称略

精神医学	吉村玲児
第2外科学	田中文啓
産業保健経営学	森 晃爾
健康開発科学	大和 浩
呼吸病態学	森本泰夫
 - 教授選考中

精神医学	
第2外科学	
 - 教室のあり方検討中

スポーツ医学	（新設）
産業保健経営学	（継続）
呼吸病態学	（継続）
健康開発科学	

3. 担当理事報告

1) 会長（西）

- 2025年1月19日～2025年5月24日
 - 2月3日 医学部5年生への進路説明会（講演）産業生態科学研究所
 - 3月3日 卒業式への祝電送付
 - 3月26日 開学40周年記念事業委員会持ち回り会議（メール会議）
 - 3月28日 大学入学案内への原稿提出
 - 3月31日 大久保利晃先生著書「私の証言」注文とりまとめ
 - 4月3日 入学式への祝電送付
 - 4月12日 評議員会
 - 4月16日 厚生労働省産業医大関係者の集い
 - 4月18日 新任教授のお祝い（丸山先生、樋上先生）
 - 4月24日 産業医大ソリューションズ 八嶋社長と面会
 - 4月25日 産業医大訪問（年度初めの意見交換）
 - 4月25日 大久保利晃先生の書籍出版を祝う会（東京）
- Zasso（理事の雑談・相談機会）を2月～5月に月1回実施
- 医学部同窓会関係（副会長）：助成金審査、同窓会評議員会対応

1－2) 会長提案

- 社会貢献活動

- 産推研が始め、その後長年にわたり労働衛生会館様より開催されてきた産業保健実践研修会（OHAS）は、2025 年より運営組織や名称を変えて提供されることになった。私の想いとしては産推研発祥の OHAS という名称を継承し、対象や目的を変えてこの名を冠した研修会を実施したいと考えている。これが社会貢献活動になるのであればそれも検討している。本年は試行的な取り組みとして 2025 年 7 月 21 日（月・祝）にオンライン形式で実施を計画している。

- 主な議論

- 産推研の会員資格は基本的に産医大卒業生であるが、OHAS の提供対象を卒業生以外にも広げることには会員の反対意見もあるのではないかな？

→産推研の会の目的は「会則第 3 条 本会は、会員相互の医学的知識の向上及び親睦を図るとともに、産業医学に関する進歩発展並びにその普及に寄与することを目的とする。」としており、また会の事業は「会則第 7 条 本会は、第 3 条の目的を達成するため、次の事業を行う。1) 学術集会、会員の研究発表会等の開催、2) 会員相互の研修・教育、3) 産業医学に関する研究、調査、4) 出版、講演会の開催、5) 関連学術団体との交流、6) その他、第 3 条の目的を達成するために必要な事業」と定めている。また、2016 年度から 2018 年度にかけて行った、産推研の今後の在り方を検討する委員会より、従来の産推研が目指した自主的勉強会としての目的は、この 30 年においてほぼ達成されており、今後は一歩前進した活動ができる会へと変革が必要であり、そこで培われた知識を社会にも貢献できる会となることが望ましいとの答申があった。これらを踏まえると、産業医学に関する進歩発展並びにその普及に寄与する社会貢献活動として OHAS の対象に卒業生以外を含めることは会の目的や事業に合致するものと考えることができる。

- OHAS の参加費を徴収することで、税など法令上の問題は生じないかな？

→OHAS 開催によって収益を上げる目的は無く、講師への謝金支払いなど最低限必要な費用として参加費を徴収し、収支ゼロとする方針ではある。しかし、産推研が主催となると法令上問題になる可能性はあるかもしれない。

→そうであれば、OHAS 事務局の主催として、産推研は後援とするのが良いのではないかな。後援するかどうかは理事会審議が必要であり、その場で審議した。結果は賛成多数で後援を認めることになった。

→後援とする場合に事務局・主催を誰が/どの団体が務めるのか決める必要がある。この点は産推研外部の論点になるため会長が後日関係者と議論することになった。

→やはり OHAS の立ち上げ初期のように産推研が主催事業として実施することに問題はなく、その方が良いのではないかなという意見も上がった。

- OHAS の参加費を徴収しない、つまり必要経費を産推研から支出する場合は、年初予算に計上されていない事業支出であり、変更には審議などを経る必要があるのではないかな。

- 結論：本年は開催予定日までに十分な議論や準備を尽くすことが難しいため、試験的に会員を対象とした開催で検討を進めることになった。

2) 総務（佐藤、中谷）

会員管理

- 2025 年 5 月 22 日時点の会員総数は 906 人となっている。
- 会費未納の会員に対して会費納入を依頼と会員継続意向を確認して対応した結果 100 人ほど会員が減少した。

会則管理

- 理事会で審議の上、4 月 5 日付で会員施行細則 7（特別会員）を改正し、5 月 13 日に会員へ通知した。
（旧）～中略～なお、原則として産業医科大学の常勤の教育職員のみ入会が認められる。
（新）～中略～なお、原則として産業医科大学の常勤の教育職員および産業医科大学の各教室・研究室・センター等に所属を持つものを特別会員の入会資格とする。

評議員会について

- 4 月 12 日 17:00～19:00 に令和 7 年度評議員会をオンラインで開催した。
 - 65 人（医 45 人、看/専 15 人、産衛/環マネ 5 人）が参加した。
 - グループディスカッションを行った。
テーマ①産推研をさらに一步前に進めるために（学科/卒期別）意見まとめ）

【医学部】

（目指す未来～新しいつながりと活躍の場～）

- 臨床と産業保健の融合
対立構造を超えて、相互に連携・補完する関係へ
- 若手医師の成長
ロールモデルの育成と発信機会の拡大
- つながりの活性化
上の期とのつながり・物理的な近さを可視化
- 会員の拡大と多様化
若手・他大学卒・他職種とのネットワークを広げる

（実現に向けたアクション）

- 交流・相談の場
匿名質問ツール・オフライン交流会の整備
世代を超えた対話とつながりの創出
地理的な「居場所」の見える化
- 若手医師の支援
地方会登壇者の学会登壇へとつなげる

アクティブでない同世代メンバーの巻き込み

➤ 会員増加と魅力発信

地方会の開催場所を工夫し参加しやすく

臨床医向けに産業保健の魅力を PR

勉強よりも「気軽さ」を重視したイベント設計

➤ ロールモデル企画

臨床⇒産業医モデルの紹介

➤ 組織の柔軟性強化

理事の若返りによる風通しの良い運営

他大学・他職種との協働のあり方を模索

【看護学科】

(目指す未来～看護職のつながりと成長支援～)

➤ 看護学科卒業生の会員増加

➤ 看護職間のつながり強化

➤ 保健師としての学びとモチベーション向上

➤ 若手看護職の育成、ロールモデルの提示

➤ 看護職が安心して参加できる環境づくり

➤ 他学部との交流促進

(実現に向けたアクション)

➤ 看護職向けの企画（研修、交流会など）

➤ ロールモデルとなる先輩看護職による講演会・相談会

➤ 若手看護職が参加しやすい企画の立案

➤ 大学との連携強化（学生への情報提供・講演など）

➤ 看護職の活動事例の共有

➤ 看護職が企画メンバーとして参加しやすい体制づくり

➤ 看護学科卒業生への地道な声かけ

【環境マネジメント学科】

(目指す未来～環境マネジメント学科のつながりと発展～)

➤ 環境マネジメント学科出身者の会員増加

➤ 学生への産推研の魅力発信

➤ 卒業生以外の産業保健に関わる人とのつながり

➤ 後輩へ繋がりを引き継いでいきたい

(実現に向けたアクション)

➤ 環境マネジメント学科卒業生への地道な声かけ

➤ 後輩への積極的な声かけ・勧誘

➤ 学生向けの講演会・説明会の実施

➤ 産推研の活動内容・メリットの周知

➤ 卒業生以外の産業保健関係者との交流企画

➤ 大学との連携強化（学生への情報提供・講演など）

テーマ②地方会の活性化に向けて

意見まとめ

- 学会などの機会を利用したインフォーマルな集会の開催
- “大人の遠足”のような気軽に参加できる企画の実施
- 地方会の開催場所の工夫
- オンライン開催、ハイブリット開催の推進
- 他社の活動事例を共有する機会の提供
- 短時間で参加できる企画の実施
- 会員が「自分ごと」として捉えられるような企画の実施
- メーリングリストでは聞けないような細かいことを匿名で質問できるツールの導入
- 会員の専門分野、活動内容を把握できる仕組みづくり
- 家庭との両立支援
- アットホームな雰囲気の醸成
- 会員の固定化
- 非会員への積極的なアプローチ（会員からの情報提供、初回参加者の登壇機会の提供など）

功績賞について

- 第2期選考委員会を発足した。第2期第1回選考委員会を6月10日20:00～21:00で予定している。
- 委員長：樋上光雄、副委員長：塩田直樹、委員：森口次郎・いもとちえこ・福田郁巳・荒木譲二・佐藤裕司（敬称略）

3) 会計（守田、本田）

- 第36期年会費納入状況が報告された。通常会費収入予算を超える入金があった。複数年の会費未納だった方へ連絡して会費納入いただいたこと等が影響している。
- 医学部同窓会からの助成金は第36期10万円で申請し認められた。それ以外の助成金は例年通り。
- 産推研として会員による大久保利晃先生の書籍購入に費用補助を出した。

4) 広報（山瀧、山下、山本、荒木）

報告内容

- 産推研/メンバーシステム HP について
 - 産推研 HP は鈴木さんに委託している。
 - サーバをお名前.comの有償サーバで運用している。
 - 産業保健活動支援情報
 - 会員限定情報はメンバーシステム HP を利用している。

- 産推研 ML の運用 について
 - 867 人、1079 件に配信している（2025 年 5 月時点）。
 - 配信漏れ・遅れが発生している。（メールアドレスの複数登録を奨励）
 - メルマガ発行
 - 年 4 回、地方会予定などを掲載している。
 - メンバーシステムからの不達が 35 人ある。
 - 産推研紹介動画作成

（※限定公開のため、この PDF ファイルでは URL を省略。URL は 2025 年 6 月 11 日
投稿 の産推研 ML [SSK:007707]に記載。）
 - 評議員 Slack 作成
 - 運用中であるが、投稿低調。
 - 評議員 ML 登録更新
- 今後の検討内容
- 産推研の認知向上、
 - 学生・卒業生の認知と参加の促進
 - 産業医科大学学生諸君に贈る歌
 - ・行事などで流し認知向上を図る
 - メルマガを年 4 回配信
 - 2025 年第 1 号（2 月配信）、臨時号（5 月配信）
 - 産推研 HP と媒体の活用
 - 新サーバの機能活用
 - 産推研 HP 更新作業を随時進めている

5) 研修・教育（増田、楠本、樋上）

第 36 期活動

- OHAS 2025（7 月 21 日開催）：増田理事が講師（の一人）を担当予定
- 理事会主催研修会を計画中：熱中症などがテーマ候補

今後の活動方針・予定

- 年 1 回程度、各地方会とは別に研修会等を開催

6) 学術（池上、喜多村、久保）

業務内容と活動報告

- 産業医学推進研究会の学術面からのサポート：現在、案件は無し。
- 産業医学推進研究会が主体として実施する研究への支援：現在、案件は無し。
- 会員向け調査の内容の確認：会員 ML で案内を送付予定。
- 産業医科大学と産業医学推進研究会の学術面での連携の窓口：現在、案件は無し。
- 2025 年 10 月 11 日（土）産業医科大学学会が開催予定であり、学会長賞の候補者推薦を進める。

7) IT (清水、橋元、倉岡)

- Zoom Pro 共有ライセンス契約は終了し、今後は利用時に各理事が月間契約を結ぶ方式に切り替えた。
- Slack を使った匿名投稿の方法について紹介
 - 1 メッセージでスラッシュ「/」を入力
 - 2 Send anonymous message を選ぶ
 - 3 チャンネルを選択
 - 4 タイトルとメッセージを入力
 - 5 Send

8) 監事 (加藤)

- 2025 年 9 月末で現在の理事の任期終了となり、今年は理事選挙を予定している。
- 近く会員に理事選挙の日程や募集内容などの詳細を案内する。

4. 地方会報告

1) 関東 (小笠原)

- 関東地方会第 86 回研究会
日程：2025 年 2 月 8 日 (土) 14:00～17:00
テーマ：産業保健の日常業務の課題共有
講師：①産業保健における頭痛 横山雅子 先生 (富士通 産業医)
②職場巡視 遠藤武尊 先生 (SUBARU 産業医 医 28)
会場：日本橋ライフサイエンスハブ 8F (現地開催のみ)
参加者数：13 名
- J-ECOH スタディ第 136 回検討会 (アリスの会・産推研関東地方会後援)
日程：2025 年 3 月 8 日 (土) 14:00～17:00
会場：TKP 神田ビジネスセンター5 階 502 号室
参加者数：25 名
- 関東地方会第 87 回研究会
日程：2025 年 7 月 5 日 (土) 14:00～17:00
テーマ：職場の喫煙対策
講師：産推研関東地方会事務局 (菊地先生、横谷先生、渡辺先生)
内容：(前半) 事例紹介 2 題 / (後半) ワーク
懇親会：17:30～ @ピッツェリアボンテチェントロ日本橋店
- 関東地方会会計報告があった。

1-2) 第 37 回全国大会開催準備報告

日時：2025 年 10 月 18 日 (土)

場所：東京都台東区浅草 台東館 (現地開催のみ)

実行委員長：坂本宜明 (医 19)、清本芳史 (医 20)、楠本真理 (看 2)、西浦千尋 (医 21)

事務局メンバー：会場及びグループワーク、託児所係（坂本、長濱、江口、福中、小森、木村、渡瀬）／体力測定係（楠本、坂口、佐々木（規）、駒井）／懇親会係（楠本、桃井、駒井、田中）／講演係（清本、末広、堀、江口）／会計係（西浦、小森）／プロフィール集め（清本、瀧上）／記録集・写真（西浦、大津）

【企画概要】

テーマ： 集まれ！産推研 頭と体をフル活用（仮）

プログラム：第1部（基調講演） 藤原新（あらた）様

「トップアスリートの過去・現在・未来～運動生理学を活用した飛躍、プロランナーとしての日々、監督としての選手・競技への関わり～（仮題）」

第2部（運動セッション） 体力測定・運動について

第3部（交流促進） ディスカッション企画

参加費：5,000 円

懇親会：台東館8階 精養軒

その他：

- ・つながり向上になる参加記念品を検討中
- ・作業負担と経済負担の効率化のために記録集は文字起こしを止めて簡素化を検討中

2) 東海（高畑）

● 東海地方会第31回研究会

日程：2025年3月8日（土）13:30～16:45

会場：現地（ウイंकあいち）&オンライン

プログラム：

<会員報告> 椎本文香先生（東海旅客鉄道 保健師、看20）

「鉄道会社における産業保健活動」

<基調講演> 水越真代先生（健康企業推進サポート シャイニング・ライフ）

「保健師としてのキャリアコンピテンシー ～行政保健師から、開業保健師として中小企業の支援の現在～」

<ワークショップ> テーマ「女性の健康支援」「個人事業主への対応」「メンタルヘルス」「化学物質の自律的管理」

参加者数：27名（現地15名、オンライン12名）

● 東海地方会第32回研究会

日程：2025年8月30日（土）13:30～16:45

会場：現地（ウイंकあいち）&オンライン開催

プログラム：

<基調講演> 樋上光雄先生（産業医科大学 産業保健学部産業衛生科学科 作業環境計測制御学）

<活動報告> 古川詩織先生（トヨタ自動車、環境マネジメント学科卒）

● 東海地方会会計報告があった。

● 第38回全国大会の開催予定

日程：2026 年 10 月 24 日（土）

会場：ウインクあいち 5 階小ホール（名古屋駅桜通口から徒歩 5 分）

3) 近畿（深井）

- 近畿地方会第 52 回研究会

日程：2025 年 4 月 13 日（日）10：30～12：30

会場：MEETING SPACE AP 大阪駅前 会議室 A（後日オンデマンド配信）

プログラム：

1. マインドフルネス ～食べる瞑想～ 食事とマインドフルネスの面白い組み合わせを体験

（講師）福田郁巳先生（トラストチャーム、看 8）

2. 教えて！専門医シリーズ ～MASLD/MASH（代謝機能障害関連脂肪性肝疾患）

（講師）森野加帆里先生（神戸労災病院 消化器内科 副部長、医 29）

参加者数：現地 14 名、オンデマンド登録 37 名

3－2）第 36 回全国大会の開催報告

- 詳細の会計報告があり、272,552 円の黒字であった。これは近畿地方会の会計に組み込まれる。

4) 九州（浅海）

- 九州地方会第 55 回研究会／産衛九州地方会 医部会・日本人間工学会との共催

日程：2025 年 1 月 25 日

会場：現地（博多）、

参加者数：105 名（現地 34 名、オンライン 71 名）

プログラム：

講演 “産業保健の未来を共に創る～人間工学の最前線と新たな挑戦～”

演者 榎原毅先生（産業医科大学 産業生態科学研究所 人間工学 教授）

座長 倉岡宏幸先生

2024 年度 日本産業衛生学会九州地方会 産業医部会研修会

講演 産業保健に役立つ眼のはなし

演者 村上美紀先生（むらかみ眼科医院 副院長）

- その他（九州地方会後援）

第 43 回福岡県アルコール関連問題 市民公開セミナー

メインテーマ「アルコール関連問題を知る」

日程・会場：2025 年 2 月 9 日 12：30～16：00、ウェル戸畑 中ホール

- 広報的活動

第 27 回産業医科大学第 3 内科学研究報告会

日程：12 月 14 日 15:00～17:55

会場：リーガロイヤルホテル小倉

演題：「産業医学推進研究会・九州地方会のご紹介」

- 今後の活用予定
 - 九州地方会第 56 回研究会（2025 年 7 月 26 日）テーマ「生成 AI の活用」、登壇者：安藤肇・吉武英隆・中尾由美
 - 九州地方会第 57 回研究会（2025 年 10 月 11 日）産業医大学会とのコラボ
 - 大人の遠足（仮）の計画中（2025 年秋ごろ）

5. 医学部同窓会、樺風会

- 今回は特記事項なし

6. 今後の日程

- 第 36 期第 3 回理事会（ハイブリッド形式） 2025 年 9 月 27 日（土）14:00～17:00
- 第 37 期全国大会・第 37 期総会 2025 年 10 月 18 日（土）

以上